

兵庫県 の 農 林 水 産 業 の 概 要

特徴・取組

兵庫県は本州の中西部に位置し、北は日本海、南は瀬戸内海に面している。南北に長い県域を持ち日本の標準時を定める子午線（東経135度）が北は豊岡市から西脇市、明石市などを経て、南は淡路市を通っている。

気候は、兵庫県のほぼ中央を東西に横切る中国山地を境に、北側は冬に降水量の多い日本海岸気候区に、南側は冬に乾燥した晴天が続く雨も少なく温暖な瀬戸内気候区に分けられる。

神戸・阪神、播磨地域は、県の人口の90%強を占め、鉄鋼、造船、機械などの産業が集積する大都市地域である。

県内総生産額は22.2兆円で、そのうち26.7%を製造業が占めており、なかでも食料品は3.5%となっている。

神戸港を含む阪神港は、西日本最大の港湾で、乳製品や肉製品、めん類、菓子、醤油等の食品製造業が多く立地しているほか、灘や西宮等の伝統的な酒造地域を抱え、清酒の出荷額は全国1位である。

神戸・阪神地域では、都市近郊の立地条件を生かした葉物野菜、果樹、花きなどの園芸作物を生産している。

播磨地域は肥沃な平野部が広がり、水田農業が展開され、酒米「山田錦」の主産地でもあるほか、県内の採卵鶏の約8割が飼育されている。

但馬地域は山間部が多く、環境に配慮した米の生産や、高原の冷涼な気候を活かした野菜生産を行うほか、但馬牛の産地として名高い。

丹波地域は穏やかな山々に囲まれ、昼夜の寒暖の差などの気候条件を活かし、黒大豆や小豆、やまのいも、栗などの特産物が有名。

淡路地域では温暖な気候を利用し、たまねぎやレタスなどの野菜、果樹、花きのほか酪農や肉用牛（但馬牛）の生産など県内で最も農業が盛んである。

日本海での沖合漁業によるずわいがに、瀬戸内海での沿岸漁業によるしらす、まだいなど、全国的に有名な水産物を水揚げしているほか、瀬戸内海ではのりの養殖が盛んである。

兵庫県は、都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展をめざし、「ひょうご農林水産ビジョン2030」を策定。

ポストコロナの新たな時代潮流を踏まえながら、①「基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開」、②「県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出」、③「『農』の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実」の3つの基本方向から施策を展開。

主な農林水産物

たまねぎ

淡路島たまねぎは、明治時代からの歴史があるブランド野菜。他産地と比べやわらかく、甘味があつておいしいとの評価。

(収穫量全国3位)



レタス

南あわじ市が主な産地で10月中旬から翌年5月末まで収穫が可能。温暖な気候から水稲やたまねぎとの三毛作で発展。

(収穫量全国5位)



カーネーション (切り花類)

淡路島が産地で、温暖な気候で日照量が多いことから、日持ちが良く、花色が豊富なのが特徴。

(出荷量全国4位)



米 (酒米含む)

米の収穫量は、全国14位である。酒米の山田錦は全国60%のシェアを誇る。

(酒米の農産物検査数量全国1位)



肉用牛

指定生産者が「但馬牛」を兵庫県内で飼育し、霜降りや枝肉重量など厳しい条件を満たした牛肉には「神戸ビーフ」の名称が許される。

(飼養頭数全国10位)



ずわいがに

兵庫県では成長したオスを「松葉がに」と呼ぶ。日本海の水深200~600mの海底に生息し、但馬の中心漁業である沖合底びき網漁業により水揚げする。

(漁獲量全国1位)



養殖のり

明石海峡を中心に、浮き流しと呼ばれる方式で養殖した「兵庫のり」は色が濃く、艶がよいのが特徴。

(収穫量全国2位)



まだい

速い潮の流れの中で豊富な餌を食べて育つ「明石鯛」などは、全国的に有名。特に秋から冬に水揚げされるものは脂がのっており「紅葉鯛」と呼び珍重する。(漁獲量全国3位)



兵庫県内の各地域における農林水産物

但馬地域

【農畜産物】
 水稲、だいこん、キャベツ、ピーマン、ねぎ、サンショウ、肉用牛(但馬牛)、ブロイラー
 【水産物】
 はたはた、ずわいがに、べにずわいがに

播磨地域

【農畜産物】
 水稲(酒米)、小麦、六条大麦、キャベツ、ほうれんそう、れんこん、鶏卵、乳用牛、生乳
 【林産物】
 たけのこ、生しいたけ
 【水産物】
 しらす、あなご類、まだい、いかなご、たこ類、のり(養殖)、かき(養殖)

丹波地域

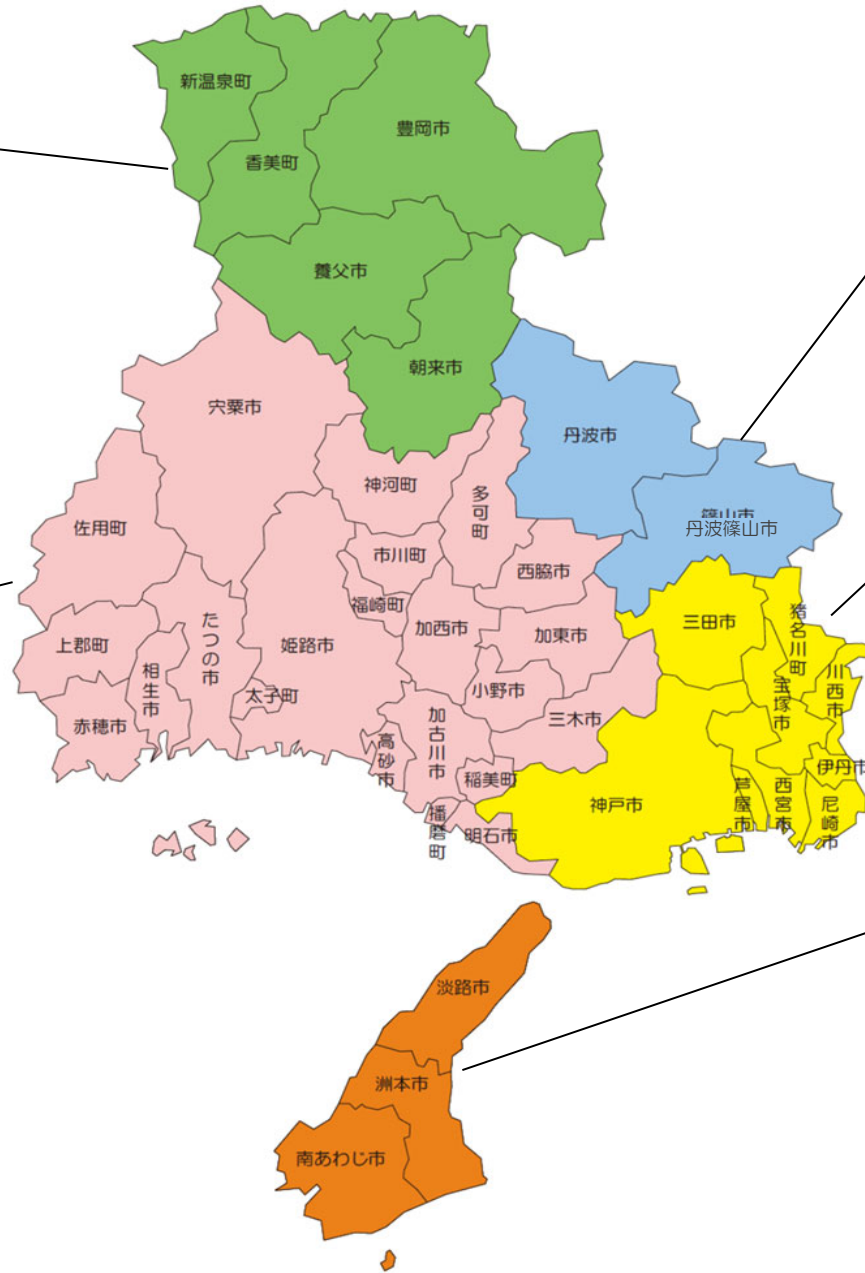
【農畜産物】
 水稲、黒大豆、えだまめ、小豆、くり(丹波栗)、やまのいも、肉用牛
 【林産物】
 生しいたけ

神戸・阪神地域

【農畜産物】
 みずな、しゅんぎく、ちんげんさい、キャベツ、ほうそんそう、イチジク、花木・庭園樹、肉用牛、乳用牛、生乳
 【水産物】
 しらす、のり(養殖)

淡路地域

【農畜産物】
 たまねぎ、レタス、はくさい、キャベツ、カーネーション、びわ、イチジク、肉用牛(但馬牛)、乳用牛、生乳
 【水産物】
 しらす、あなご類、まだい、いかなご、たこ類、のり(養殖)



兵庫県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は7万2,800haで全国第18位。
- ・農業経営体数は3万8,302経営体で全国第5位、集落営農数は895集落営農で1位。
- ・認定農業者数は2,459経営体で全国第29位。

耕地面積

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
耕地面積	72,800 ha	4,349,000 ha	18
田	66,700 ha	2,366,000 ha	12
畑	6,120 ha	1,983,000 ha	41
普通畑	4,270 ha	1,126,000 ha	37
樹園地	1,550 ha	263,200 ha	39
牧草地	287 ha	593,400 ha	30
参考) 総土地面積	840,094 ha	37,797,463 ha	12

出典: 「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	2,217 ha	281,831 ha	37

出典: 「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	17,871 ha	2,535,115 ha	30
集積率	24.5 %	58.0 %	42

出典: 「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
農業経営体数	38,302 経営体	1,075,705 経営体	5
法人経営体	649 経営体	30,707 経営体	19
総農家数	67,124 戸	1,747,079 戸	3
販売農家	37,025 戸	1,027,892 戸	5
参考) 世帯総数	2,402,484 世帯	55,830,154 世帯	8
集落営農数	895 集落営農	14,490 集落営農	1

出典: 「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	34,591 人	1,363,038 人	17
男	22,790 人	822,144 人	14
女	11,801 人	540,894 人	21
65歳以上	27,551 人	948,621 人	11
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	79.6 %	69.6 %	-
認定農業者数	2,459 経営体	233,806 経営体	29
法人数	439 法人	26,080 法人	26
参考) 総人口数	5,465,002 人	126,146,099 人	7

出典: 「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

兵庫県 の 農 業 (2)

- ・ 農業産出額は1,478億円で全国第22位。
- ・ 農畜産物の生産状況は、たまねぎ、サンショウが全国第3位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が306億5,000万円 で全国第10位。

農業産出額

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
農業産出額	1,478 億円	89,557 億円	22
米	420 億円	16,551 億円	13
麦類	1 億円	521 億円	25 *
雑穀	0 億円	77 億円	26
豆類	26 億円	712 億円	4
いも類	9 億円	2,391 億円	28
野菜	349 億円	22,520 億円	21
果実	38 億円	8,741 億円	40
花き	36 億円	3,080 億円	27
工芸農作物	1 億円	1,553 億円	44
その他作物	6 億円	697 億円	24 *
畜産	592 億円	32,279 億円	13
肉用牛	167 億円	6,863 億円	10
乳用牛	119 億円	9,310 億円	11
生乳	101 億円	7,798 億円	12
豚	17 億円	6,596 億円	38
鶏	287 億円	8,724 億円	9
鶏卵	171 億円	4,577 億円	11
ブロイラー	86 億円	3,621 億円	9 *
その他畜産物	1 億円	787 億円	35
加工農産物	0 億円	436 億円	42

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	兵 庫 県	全 国	全国順位
たまねぎ	収穫量 R2	98,500 t	1,357,000 t	3
サンショウ	収穫量 R1	32 t	651 t	3
イチジク	収穫量 R1	1,297 t	11,578 t	4
みずな	収穫量 R2	1,630 t	43,800 t	4
カーネーション (切り花類)	出荷量 R2	18,500 千本	206,100 千本	4
レタス	収穫量 R2	29,300 t	563,900 t	5
しゅんぎく	収穫量 R2	1,350 t	27,400 t	6
肉用牛	飼養頭数 R3	57,300 頭	2,605,000 頭	10
鶏卵	生産量 R2	99,434 t	2,632,882 t	10
はくさい	収穫量 R2	20,300 t	892,300 t	11
キャベツ	収穫量 R2	28,000 t	1,434,000 t	11
水稻	収穫量 R3	175,800 t	7,563,000 t	14

出典：「野菜生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「畜産物流通統計」、「作物統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	7,733 百万円	946,841 百万円	36
	事業体数	1,080 事業体	32,400 事業体	7
農産物直売所	総額	30,650 百万円	1,053,366 百万円	10
	事業体数	630 事業体	23,650 事業体	15
観光農園	総額	1,135 百万円	35,943 百万円	12
	経営体数	190 経営体	5,290 経営体	10

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

兵 庫 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は32.2億円で全国第33位。
- ・ 林産物の生産状況は、たけのこが全国第16位。

林野面積

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
林野面積	563,148 ha	24,770,201 ha	14
国有林	29,563 ha	7,153,338 ha	28
民有林	533,585 ha	17,616,863 ha	8
人工林面積	238,170 ha	10,203,842 ha	14

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
林業経営体数	514 経営体	34,001 経営体	25
法人経営体	115 経営体	4,093 経営体	10

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
林業産出額	32.2 億円	4,286.4 億円	33
木材生産	20.4 億円	1,943.7 億円	27
栽培きのこ類生産	8.4 億円	2,259.6 億円	36

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
素材生産量	264 千m ³	19,882 千m ³	24
針葉樹	252 千m ³	18,037 千m ³	23
ひのき	66 千m ³	2,722 千m ³	14
すぎ	183 千m ³	11,663 千m ³	19
広葉樹	12 千m ³	1,845 千m ³	26
たけのこ	生産量 209 t	生産量 26,449 t	16
生しいたけ	生産量 685 t	生産量 70,280 t	26

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
工場数	80 工場	4,115 工場	26
製材用素材の入荷があった工場数	80 工場	4,067 工場	26
国産材のみ	53 工場	3,237 工場	30
国産材と輸入材	17 工場	653 工場	18

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

兵 庫 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は485億円で全国第9位。
- ・水産物の生産状況は、しらす、ずわいがにが全国第1位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が14億1,900万円で全国第7位。

漁船隻数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,167 隻	132,201 隻	7
動力漁船	3,921 隻	69,920 隻	3

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,712 経営体	79,067 経営体	11
内水面漁業経営体数	22 経営体	4,772 経営体	40

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	4,840 人	151,701 人	10
男	4,725 人	134,186 人	8
女	115 人	17,515 人	23

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	485 億円	13,484 億円	9

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	118,081 t	4,182,983 t	10 *
海面漁業漁獲量	41,591 t	3,213,334 t	20
しらす	13,972 t	59,244 t	1 *
ずわいがに	787 t	2,805 t	1 *
海面養殖業収穫量	76,490 t	969,649 t	6 *
くろのり	63,135 t	280,501 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	41 t	50,832 t	35 *
内水面漁業漁獲量	7 t	21,745 t	35 *
内水面養殖業収穫量	34 t	29,087 t	34 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	兵 庫 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	2,870 百万円	175,132 百万円	15
	事業体数	40 事業体	1,500 事業体	9
水産物直売所	総額	1,419 百万円	36,489 百万円	7 *
	事業体数	40 事業体	800 事業体	3 *
漁家レストラン	総額	282 百万円	11,822 百万円	13 *
	事業体数	10 事業体	420 事業体	11 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

兵庫県 の 農 林 水 産 業 の 話 題 等 (1)

スマート農林水産業の展開による省力化・高品質化の推進

兵庫県では農業の省力化や労働環境改善、経営安定等を目指すため、ICT等の先端技術を活用したスマート技術の導入を支援し取組を推進。

産地導入モデルの確立・普及推進(露地栽培)

産地と企業とのマッチングを進め、産地でスマート農業技術を実証することにより、産地導入モデルを構築。

併せて、農機のシェアリング等による導入を支援。

統合環境制御システム導入の支援(施設園芸)

施設園芸における収益性向上と経営安定化を図るため、新たな環境制御ハウスの導入等を支援。

牛舎施設整備及びスマート機械導入等の支援(畜産)

収益強化や規模拡大に取り組む畜産クラスターの中心経営体に対し、牛舎整備、家畜導入、施設整備に関する経費を支援。



薬剤を散布するドローン



環境制御型ハウスでのトマト栽培

新たな需要に対応した県産食品の販売促進

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、インターネットによる食品購入が定着し、今後も、一層増加することが見込まれる中、県産農林水産物・加工食品の販売促進のため、県内農畜水産団体等が運営するECサイトを一度に閲覧できるまとめサイトを活用し、ECサイトでの販路拡大や食の情報発信を強化。

生産者等のECサイト販売力強化のため、兵庫の美味しいものまとめサイト「御食国(みけつくに)ひょうご」のWeb解析結果を活用した研修会を開催。

兵庫の美味しいものまとめサイトの魅力向上対策のため、シェフ等が県産食材をPRする動画等も作成し県産食品の販売促進を実施。



兵庫の美味しいものまとめサイト
「御食国ひょうご」

兵庫県 の 農 林 水 産 業 の 話 題 等 (2)

但馬牛・神戸ビーフの新たな国内外需要の創出

国内外での神戸ビーフの需要拡大を図るため、但馬牛の特長をPRし、他県産の牛肉ブランドとの差別化を推進。

兵庫県ゆかりのプロスポーツ選手等を「但馬牛・神戸ビーフ応援大使」に任命するとともに、SNS等を活用し国内外に広くPR活動を展開することにより、消費者や食肉事業者に神戸ビーフの名声を届け、生産力の強化とともに新たな需要を創出。

また、観光ガイドや神戸肉流通推進協議会の指定登録店を対象とした神戸ビーフセミナーの開催の支援や大きく変化している牛肉の輸出環境を好機と捉え、海外でのプロモーション活動を積極的に展開し、輸出需要を促進。



美方地域の但馬牛

日本農業遺産の認定（未来につなぐ地域農業の文化・伝統・ストーリー！）

兵庫県は、ひょうご五国の多様な気候や風土に根ざした多彩な農林水産物が生産されており、現在3つの地域が日本農業遺産に認定されている。

兵庫美方地域「兵庫美方地域の但馬牛システム」（平成31年2月認定）

全国に先駆けて牛籍簿を整備し、郡内産にこだわった和牛改良を行うことで、独自の遺伝資源が保全されてきた。

但馬牛の飼養は、地域の草原や棚田の維持、農村文化の継承にも貢献。

丹波篠山地域「丹波篠山の黒大豆栽培～ムラが支える優良種子と家族農業」（令和3年2月認定）

水不足を克服するため、ムラでの話し合いにより、一部農地に導水しない「犠牲田」を設けて畑作を行い、300年前から黒大豆栽培がおこなわれてきた過程で「乾田高畝栽培技術」や選抜育種による優良品種生産方式を確立し、黒大豆の主要産地として発展。

南あわじ地域「南あわじにおける水稲・たまねぎ・畜産の生産循環システム」（令和3年2月認定）

農地が少なく、水に恵まれない「島という環境」で発達してきた効率的な水利用や耕種農家と畜産農家の各階層が小規模集落内で補完関係を構築して資源循環型農業を行う、独創的で伝統的な知識システム。二毛作農地、たまねぎ小屋、長屋門が点在する特徴的なランドスケープも形成。



丹波篠山地域の黒大豆



南あわじ地域のたまねぎ小屋